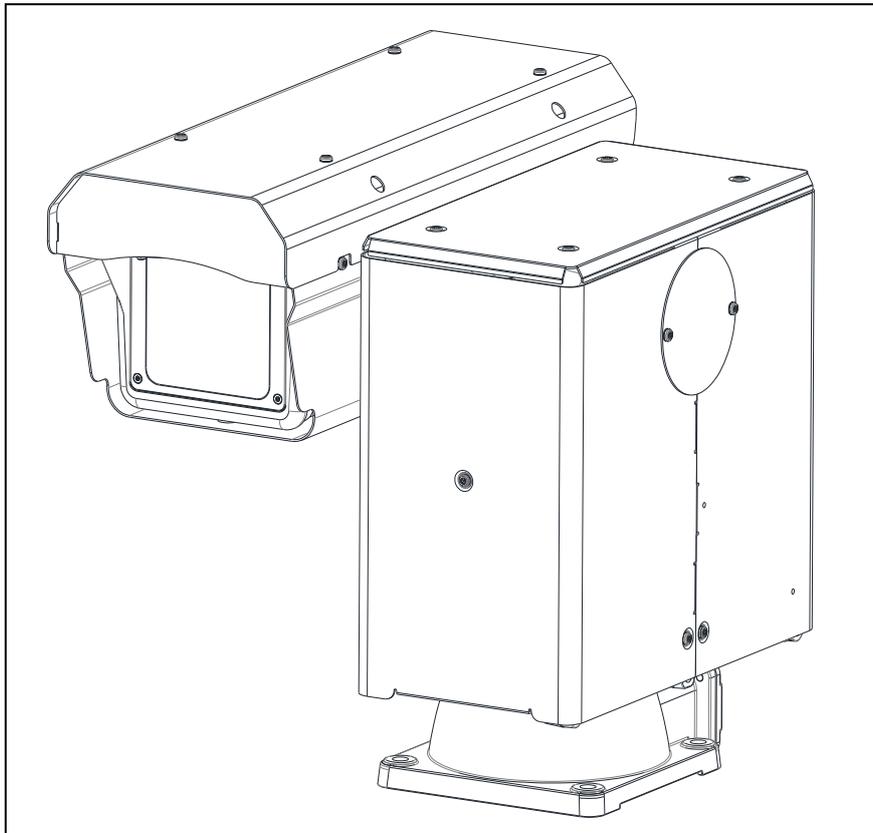


MIKAMI

取扱説明書

屋外用一体型巡回カメラ
型式 PTC-250 II-HDSDI(A4)



このたびは、一体型巡回カメラをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 特に、「安全上のご注意」(P.3~4)はご使用前に必ずお読みください。
- ご使用になった後は大切に保管し、必要なときにお読みください。

目次

1. 安全上のご注意	3～4
2. 概要	5
3. 特長	5
4. 構成	5
5. 使用上のお願い	6
6. 各部の名称	7
7. 設置時の注意	8
8. 設置の仕方	9～11
9. 本体のコネクタ接続	12～15
10. 接地接続	15
11. ワイパーブレードの交換とデフガラスの清掃	16
12. IR35(WR20) 投光器ユニットの角度調整	17～18
13. IR20V(WR15V) 投光器ユニットの角度調整	19～20
14. システム接続	21
15. カメラアドレス設定と終端設定について	21
16. インターフェース図	22
17. 困ったときは？	23
18. 仕様	24～30
MEMO	31
製品の保証について	32

1. 安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ご使用前にこの「安全上のご注意」および「取扱説明書」をよくお読みください。
この内容は、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。本文で使用している表示と図記号の意味は次の通りです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

表示の種類と意味

 注意(警告を含む)を促す内容を示しています。	 感電注意を促す内容を示しています。
 禁止行為であることを示しています。	 分解禁止行為であることを示しています。
 必ず守ってほしい行為であることを示しています。	

 警告	
	■ 電源回路には、ブレーカーやヒューズ、接地などの保護対策をしてください。保護対策をしないと火災、感電の原因となります。
	■ 雷が鳴り出したら、機器やケーブルなどに触れないでください。感電の原因となります。
	■ 製品の設置は、十分に強度のある場所に取り付け、指定方法以外の取り付けはしないでください。落下の原因となります。
	■ 製品の上に乗ったり、足場などにしないでください。転落の原因となります。
	■ 表示された電源以外は、使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 	■ 製品の内部を分解したり、改造や追加加工をしないでください。機器の破損や落下、浸水、火災、感電などの原因となります。

注意

	<ul style="list-style-type: none">■ 製品を、ホコリやゴミの多い環境の所で使用する場合は、常に清掃を心掛けてください。 機器類のホコリやゴミは、漏電、火災の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 可燃物や金属製品、液体などが製品内部に入った場合は、すぐに電源を切ってください。 そのまま使用しますと、火災、感電の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 屋内機器は、直接日光のあたる所や温度の高い所に設置しないで下さい。 内部温度が上がリ、火災、感電の原因となることがあります。
	<ul style="list-style-type: none">■ コネクタやプラグを抜く時は、ケーブルをつかんで抜かないでください。 必ずコネクタやプラグを持って抜いてください。接触不良により火災、感電の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 製品は、指定された方向以外に取り付けしないでください。 屋外用製品であっても、指定以外の方向に取り付けますと内部に浸水したり、火災、感電、落下の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 製品を振動の多い場所に取り付けしないでください。 ネジがゆるみ、破損や落下の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 設置工事は専門知識のある工事関係者又は、所定のサービスマン以外の方は、作業をしないでください。 火災、感電の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 梱包材は、安全な方法で処分してください。 不用意に燃やしたりしますと、黒煙が出て環境を害したり、ケガや窒息する危険があります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 安全に使用するために機器類は、定期的に点検を行ってください。 ケーブルの劣化、腐食による、浸水などにより漏電、火災の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 高所での作業は、安全防具(安全帯など)の着用と工具類の落下防止対策を必ず行ってください。 転落、ケガ、工具落下による事故の危険があります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 使用しなくなった機器類は、電源を切って速やかに撤去してください。 設置したまま放置しておきますと腐食して落下、漏電、火災などの危険があります。

2. 概要

- 本製品は、屋外使用できるように考慮された一体型巡回カメラです。
- HDカメラを搭載しており高画質な映像を配信できます。

3. 特長

- カメラポジションを最大 255 ヶ所プリセットすることができます。
- 任意に設定したパンの左右2点間を往復動作できます。
- ワイパーがついているため、デフガラスの汚れが映像に影響を及ぼすことはありません。

4. 構成

- ① 一体型巡回カメラ本体.....1
- ② 付属コネクタ[電源プラグ、制御プラグ、映像プラグ].....1
- ③ 取扱説明書(本書).....1
- ④ 梱包箱.....1

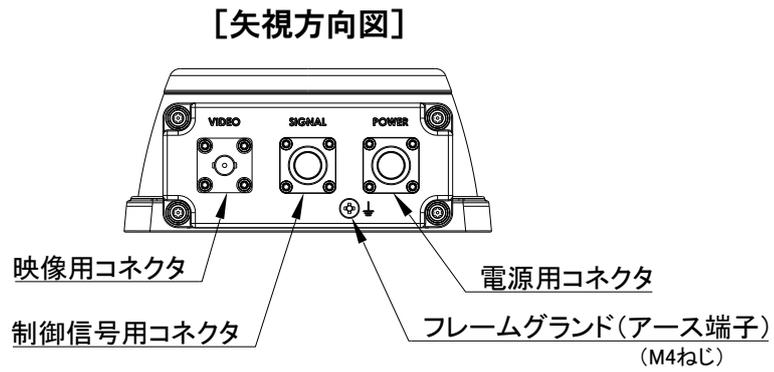
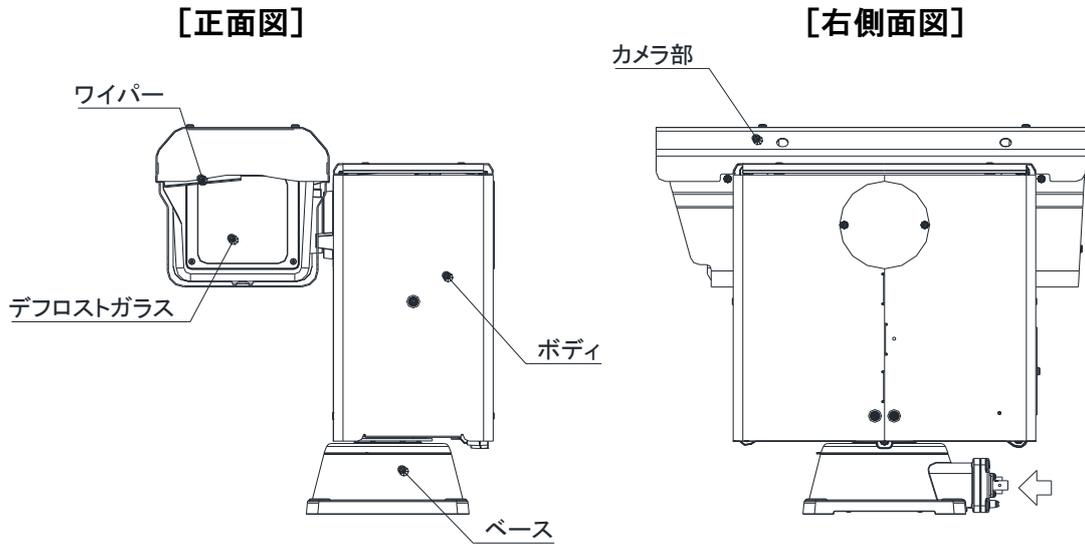
5. 使用上のお願い

- 外来サージ対策に関してサージプロテクタ回路を有しておりますが、次の点にご注意ください。
 - ・アース端子(FG)を必ず大地へ接地してください。
 - ・すべての外来サージに対して有効ではありません。
 - ・絶縁、耐圧試験を行うことは出来ません。
- 本製品には、凍結防止機能はありません。従って凍結した状態での性能保証はできません。
(パン/チルト/ワイパー動作)
- 使用温度範囲は、-30℃～+45℃までです(0℃以下は連続通電時)
この温度範囲外で使用すると内部の部品に悪影響を与え、誤動作や故障の原因となります。
- コールドスタートについて
外気温が0℃以下の場合には必ず通電してください。0℃以下での起動は正常に動作しない場合がありますので予めご了承ください。また積雪や凍結、異物等の外的要因がある場合は、必ず取り除いてから電源を入れてください。
- デフロストガラスに直接触れないでください。
汚れた場合は、アルコールを含まないOAクリーナー又は、柔らかい布で軽くふいてください。
- カメラを太陽に向けないでください。太陽光がレンズにより集光され映像素子の破損やカメラ・レンズが損傷する恐れがあります。
- 強いショックや振動を与えないでください。故障の原因となります。
- 風や振動等の影響で画像が揺れることがあります。設置場所により揺れ量が異なりますので、揺れ量を重視される場合は事前に設置場所の確認をすることをお勧めします。
- 取付け面方向にチルトを旋回すると、映像の一部に取付け箇所が映りこみます。
- 連続運転でご使用される場合は、必ずインターバルを設けてください。
オートパン、シーケンシャル動作などのオート動作は、停止時間を10秒以上としてください。
- 消耗品について
 - ・次の部品は消耗品です。寿命時間を目安に交換が必要です。
 - ・なお寿命時間は、使用環境、使用条件によって変わります。
 - ・消耗部品の交換は、保証期間内であっても有料となります。

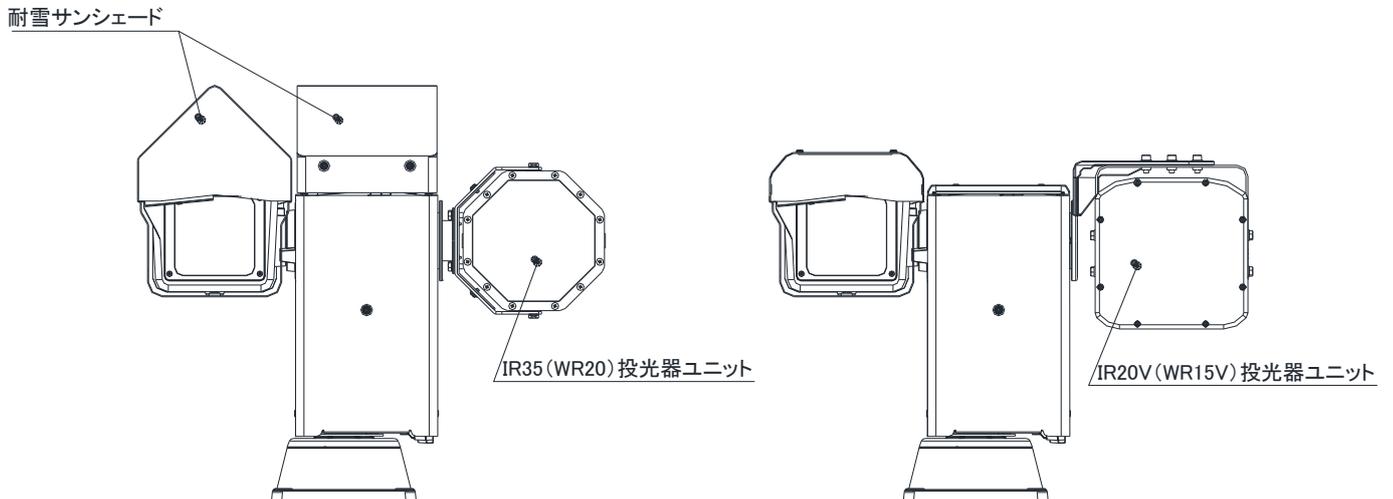
消耗部品	およそ寿命
レンズ	1,200,000 動作
白黒切替フィルタ	100,000 動作
スリップリング	1,200,000 回転
モーター	4,000,000 回転
水平旋回部	1,200,000 回転
垂直旋回部	1,200,000 回転
ファン	50,000 時間
ワイパーモーター	180,000 動作
ワイパーブレード	約1~2年

6. 各部の名称

《標準仕様》



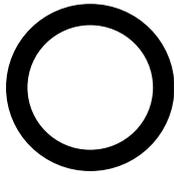
《オプション搭載仕様》



7. 設置時の注意

■ 運搬時や設置時の本製品の取り扱いにご注意ください。

	<h3>注意</h3>	<ul style="list-style-type: none">● バasketを使用する際は本製品の最大質量(約 24kg)に十分耐え、耐久性のあるものをご使用ください。● 他の障害物への接触や衝突、急激な上下動作はしないでください。● ぐらついた台の上や傾いた不安定な場所に置かないでください。落としたり倒れた場合にはケガや故障の原因となります。● 電源投入後は原点復帰動作をしますのでご注意ください。
---	-------------	--



製品の正しい持ち方と運び方

● 梱包箱から取り出す際や、運搬時には図 1 のように持ち カメラケース部は絶対に持たないでください。

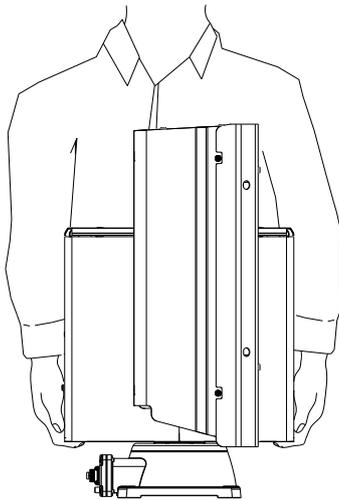


図 1

● 図 2 ようにバスケットに入れて運ぶことも可能です。

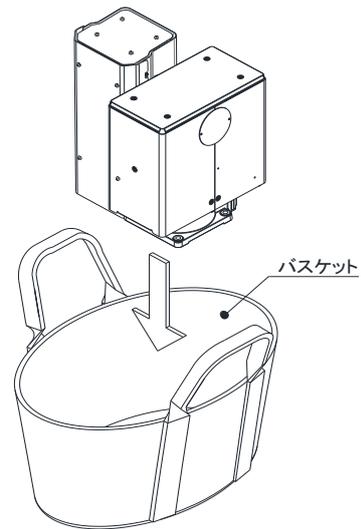
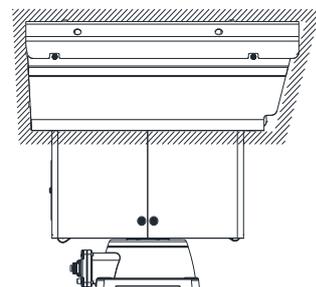
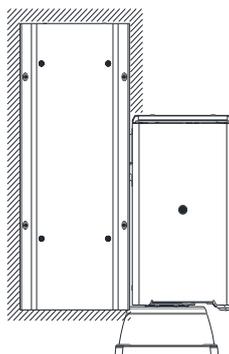
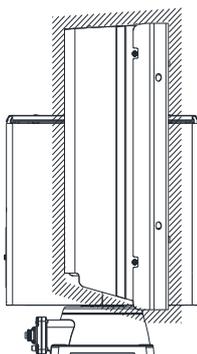


図 2



カメラケース部(斜線部)を持って運ばないでください

※ギヤに負担が掛かり、ガタが大きくなり旋回性能に影響を及ぼす場合があります。



8. 設置の仕方

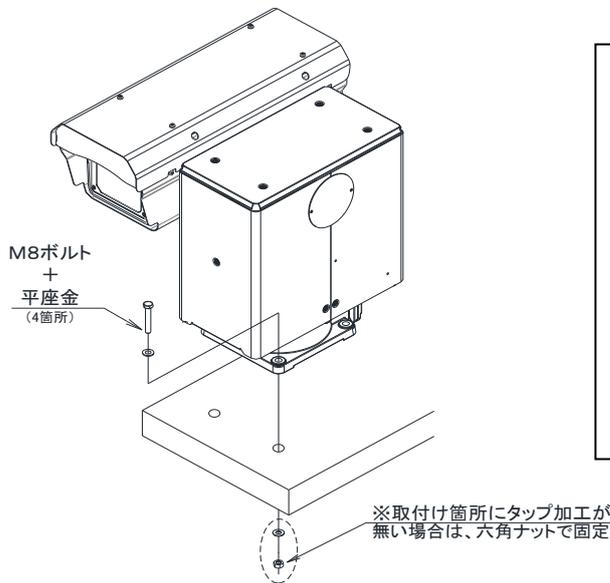
■ 据え付け方法を下図に示します。

	<h3>警告</h3>	<ul style="list-style-type: none">●本製品の最大質量は約 24kg です。●取付位置の強度を確保してください。落下によるけがの原因となります。●作業は乾燥した暖かい日に作業することを推奨します。●感電のおそれがあるので、作業は必ず電源を切った状態で行ってください。●据え付けの調整を行うときも必ず電源を切ってから行ってください。
---	-------------	---

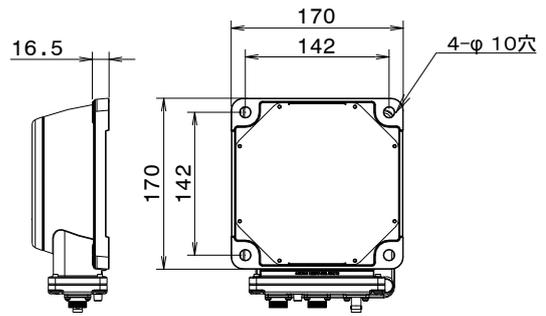
① 本体を安定した場所に乘せます。

② M8 ボルトで固定します。

- ・M8 ボルトは適切な長さのものを使用してください。(ベース厚み 16.5mm+取付場所等を考慮してください。)
- ・必ず平座金を用いるようにしてください。
- ・取付場所にタップ加工がされていない場合は M8 六角ナットを用いて固定してください。
- ・塩害地域での取り付けは、ボルトが腐食しないようにコーティングすることをお勧めします。

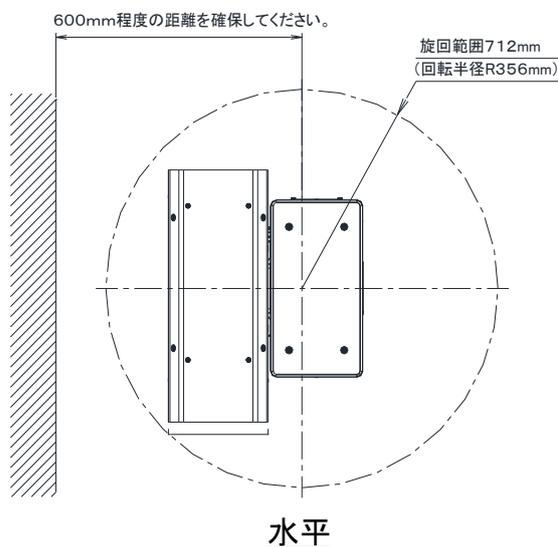


■ベース部寸法図

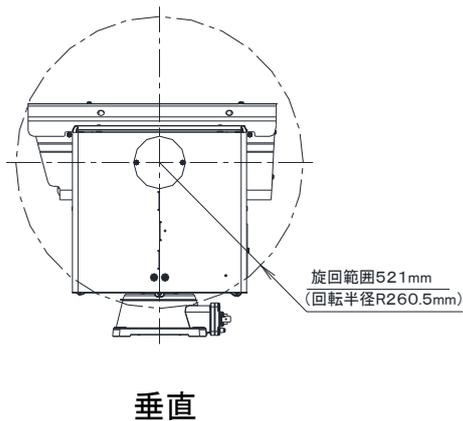


◆ 旋回範囲 ◆

本製品を据え付ける際の水平/垂直方向の旋回範囲を下図に示します。

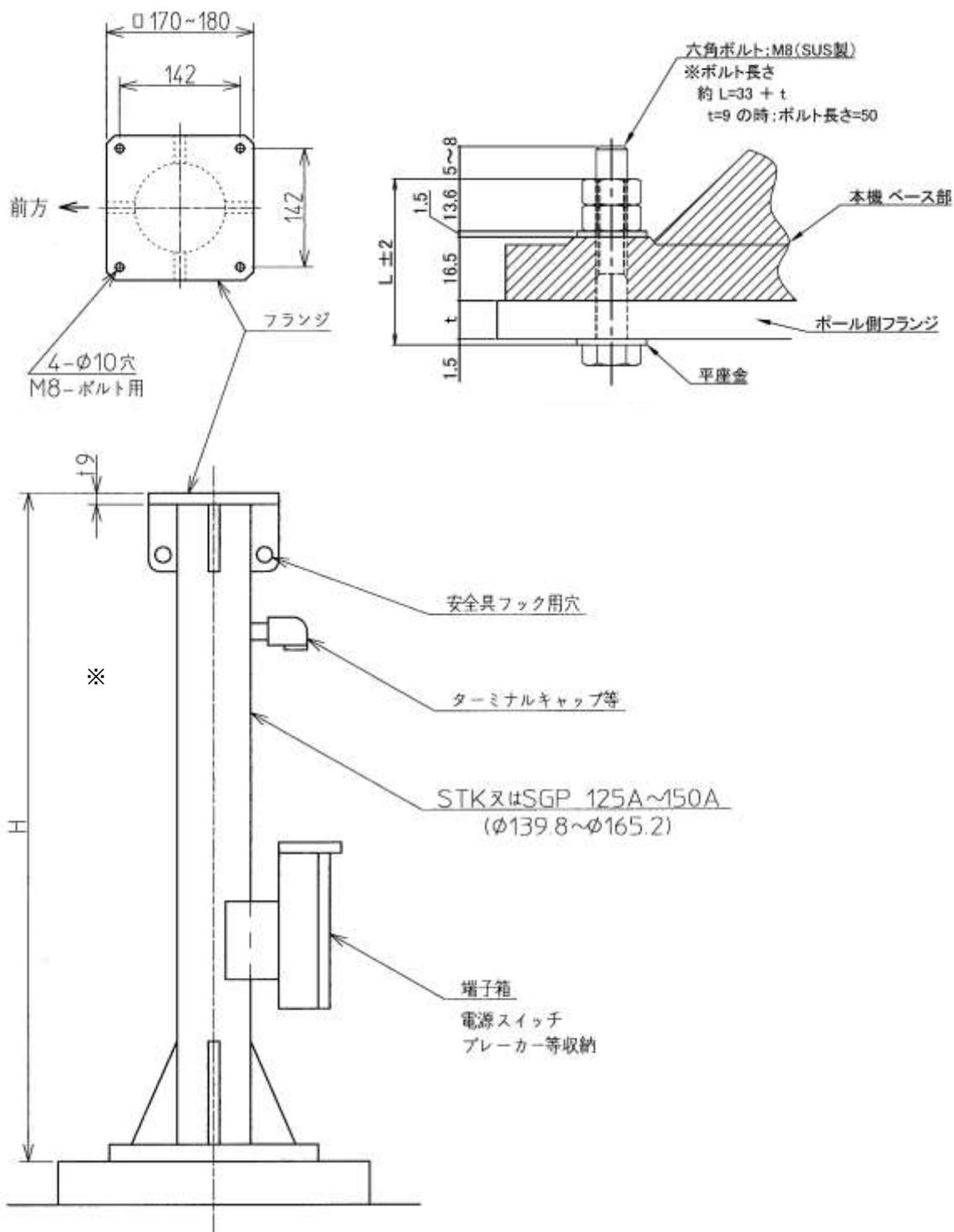


※オプション搭載仕様の旋回範囲は、外形仕様図(☞ 24 ページ~)を参照してください。



■ 設置工事について

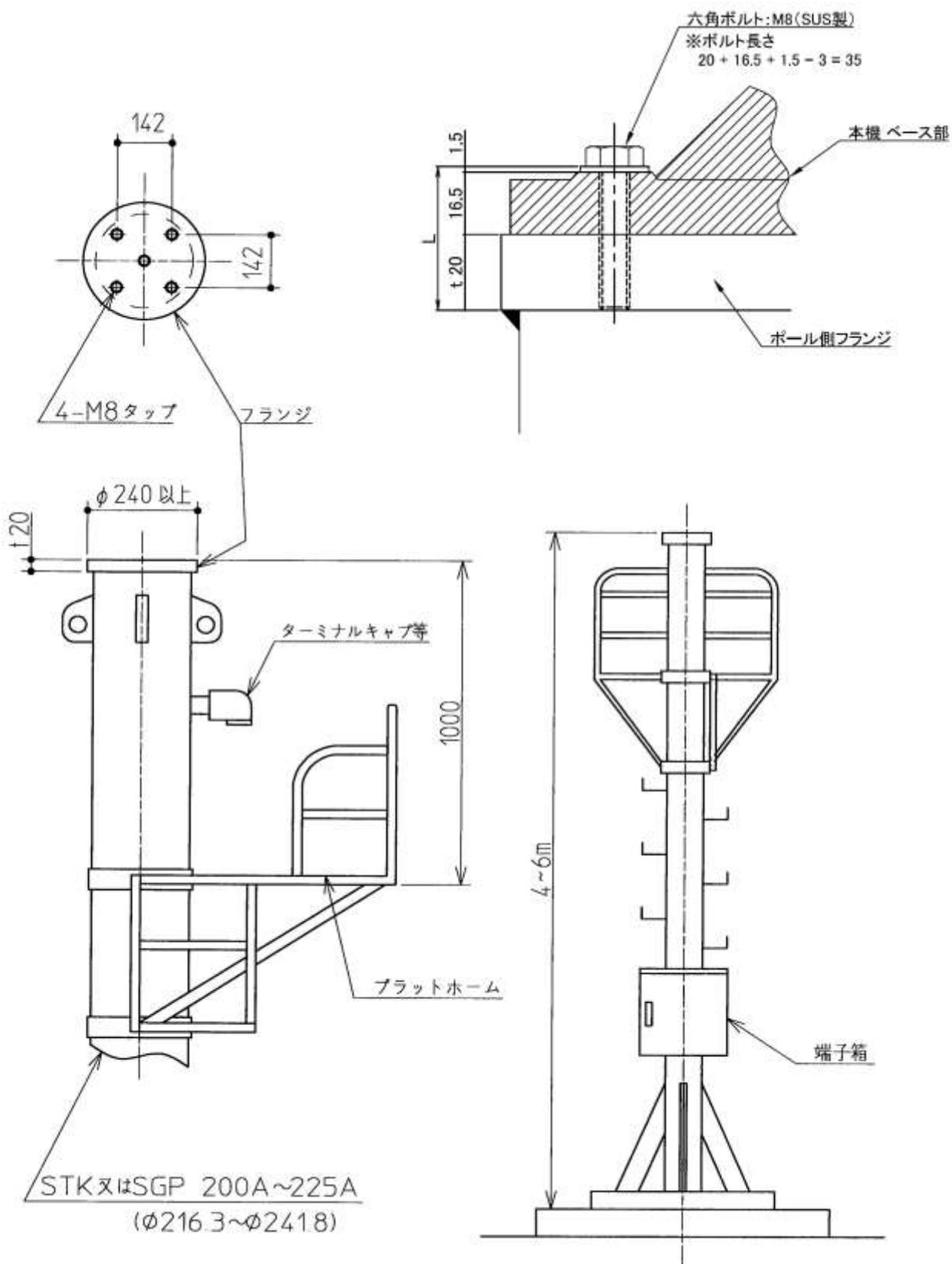
【設置工事例-1】



本製品の取り付け面が水準、水平面である事を必ず確認してください。

※ Hはメンテナンス時にバケット車等が近付ける場合で4m未満の時

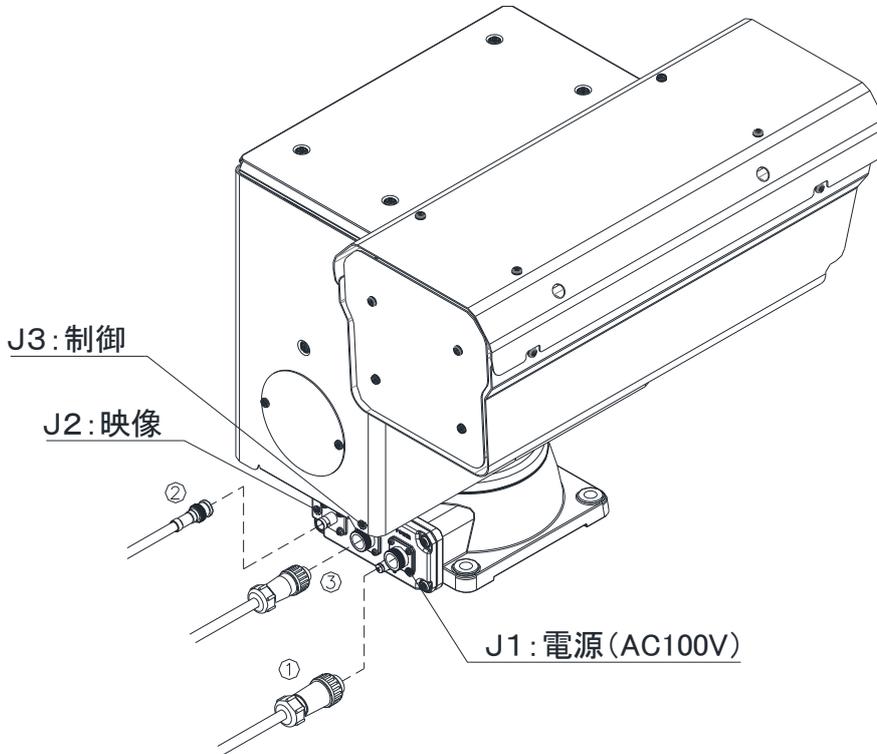
【設置工事例-2】



9. 本体のコネクタ接続

■ 下図を参照して、各コネクタを接続してください。

- 電源コネクタは最後に接続するようにしてください。通電後、旋回を行い危険が伴います。
- プラグは上下にゆすりながらしっかりと台座に締め付けてください。
- ケーブル長は適合ケーブルを使用し、下記の最大ケーブル長以内を厳守ください。



番号	名称	適合ケーブル	適合コネクタプラグ	最大ケーブル長	
①	電源線	外径φ9.5~11.0 mm 電線導体断面積 1.25 mm ²	NJW-163-PF(11) 付属品	50m 以内	
			1. AC100V(L) 3. FG 2. AC100V(N)		
②	映像信号線	5C-FB	BNCW709-P1-(0) 付属品	100m以内 ※1	
	※映像プラグは 5C-FB 専用です。指定圧着工具は CWB-T0105/T0106 となります。 7C-FB 用はご用意できません。				
③	制御信号線	外径φ8.0~9.4 mm 電線導体断面積 0.3 mm ²	NJW-168-PF(9) 付属品	1.2km 以内 ※2	
			1. FG 5. RS-485 B-		
			2. RS-485 A+		6. SG
			3. RS-485 B-		7. NC
			4. RS-485 A+		8. NC

※1 使用環境・接地状況・使用ケーブルまたは、モニターなど映像表示装置によっては、100m まで延ばせない場合があります。

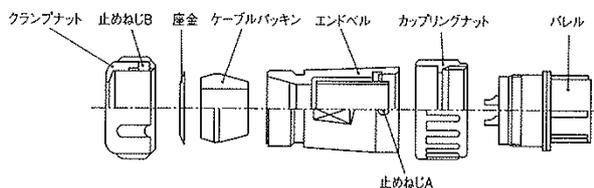
※2 使用環境・設置状況・使用ケーブルにより、1.2km まで制御できない場合があります。

接続についての詳細は、
14.システム接続(☞ 21 ページ)を参照してください。

■ 結線作業方法を下図に示します。

【NJWシリーズ結線作業方法】

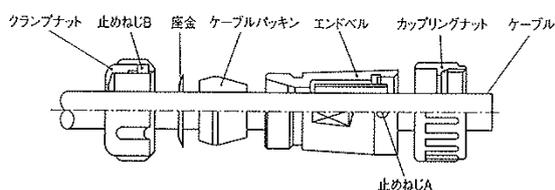
1.下記の要領でコネクタを分解する。



- ① 止めねじAを緩め、バレルをエンドベルより外す
(反時計方向に回す)
- ② 止めねじBを緩め、クランプナットをエンドベルより外し、
座金とケーブルパッキンを取り出す

2.分解した各部品を下図の順でケーブルに通す。

注) 各部品の順番、向きを間違えないようにすること



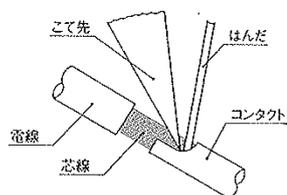
3.各使用ケーブルのシース及び電線を次ページの寸法で剥く。

4.端末処理を施したケーブルの芯線に予備はんだを施す。

注) 予備はんだは、ケーブルの被覆部まで行わないこと

注) 仕上がり状態は、コンタクトの孔径より小さく全体にムラのないこと

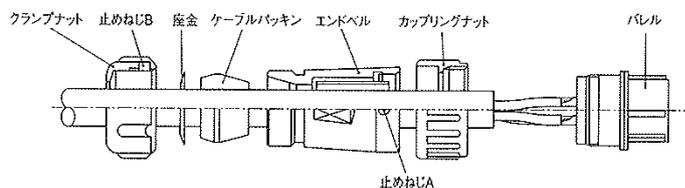
5.はんだづけ。



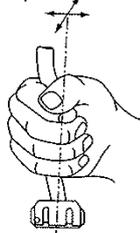
- ① コンタクトの溶剤ポットに予備はんだを施した芯線を差し込む
- ② コンタクトと芯線をはんだごてで加熱する
- ③ はんだを流し込みコンタクトと芯線のすき間を埋める

使用はんだごて	導体断面積(mm ²)	こて先温度(°C)
10W	0.3, 0.5, 0.75	280~300
30W	1.25, 2	350~370
60W	3.5, 5.5	370~400

6.下記の要領でコネクタを組み立てる。



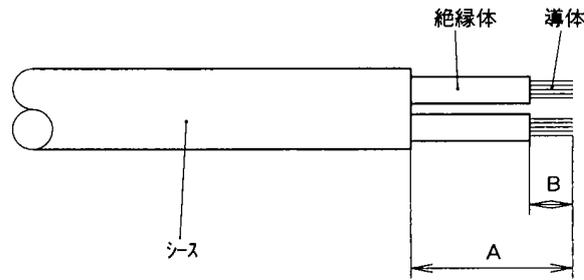
(※)



- ① エンドベルにバレルをねじ込み、止めねじAで固定する
- ② エンドベル内にケーブルパッキンと座金を押し込み、エンドベルを固定しクランプナットをねじ込む
- ③ ケーブルを前後左右に動かしてなじませ (※)、再度規定のトルク値で締込み止めねじBで固定する

[単位：N・m]

締付け箇所	シェルサイズ				
	16	20	24	28	32
エンドベル	1.0~1.5	1.0~1.5	1.0~1.5	1.5~2.0	1.5~2.0
クランプナット	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	1.5~2.0	2.5~3.0
止めねじA, B	0.2~0.3	0.2~0.25	0.2~0.25	0.2~0.3	0.3~0.4
クランプねじ	—	—	—	—	0.6~0.8



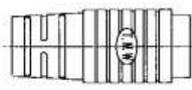
コネクタ型式	A 寸法	B 寸法	導体面積 (mm ²)	こて先温度 (°C)
NJW-163-PF、PM、AdF	16	5.2	1.25	350
NJW-168-PF、PM、AdF		3.2	0.3	280
NJW-202-PF、PM、AdF	18	7.0	2.0	350
NJW-203-PF、PM、AdF				

【BNCW709-P1-0 結線作業方法】

指定圧着工具: CWB-T0105/0106

※映像プラグは 5C-FB 専用です。7C-FB 用はご用意できません。

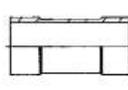
①



ゴムブーツ



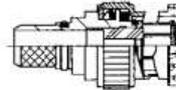
収縮チューブ
(接着剤付き)



フェルール



中心コンタクト



コネクタ本体

②

ケーブルにゴムブーツ、収縮チューブ、フェルールを外装して、ケーブル外被、シールド編組及び絶縁体を切り取る。

③

中心コンタクトに中心導体を挿入して、中心コンタクトと中心導体を圧着工具にて圧着する。

④

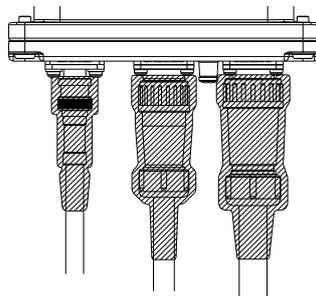
中心コンタクトを接続したケーブルをコネクタ本体に挿入する。シールド編組はほぐさないで、コネクタ本体のローレット外周面に平均にかぶせる。

⑤

フェルールをフェルール端がコネクタ本体の中央溝低部に接する位置までシールド部にずらす。(フェルールをずらす際に、シールド線が上図のシェル段部にかから無い様に注意する事。又、リングに傷及びごみ等の不純物をつけ無い様、注意する事。)

■ 下図を参照して自己融着テープを巻きつけてください。

- 自己融着テープを台座部の根元部分からプラグ、ケーブルまで巻きつけてください。
 - ・自己融着テープを2倍程度に引っ張りながらテープの半分が重なるように巻きつけてください。
 - ・テープが重なる部分の空気を追い出しながら巻きつけてください。
 - ・テープを巻きつける方向はプラグが締まる方向に巻きつけてください。
 - ・ケーブル部分にも連続的に巻きつけてください。
- 自己融着テープを巻きつけた後はビニールテープでもう一度巻いてください。
 - ・ビニールテープの終わりは引っ張って切らずにはさみやカッターで切ってから巻きつけます。
 - ・ビニールテープの終わりがひらひらしていると鳥が口ばしで突付いて剥がしてしまうおそれがあるので注意してください。
- ケーブルは風で揺すられるので束ねて固定してください。

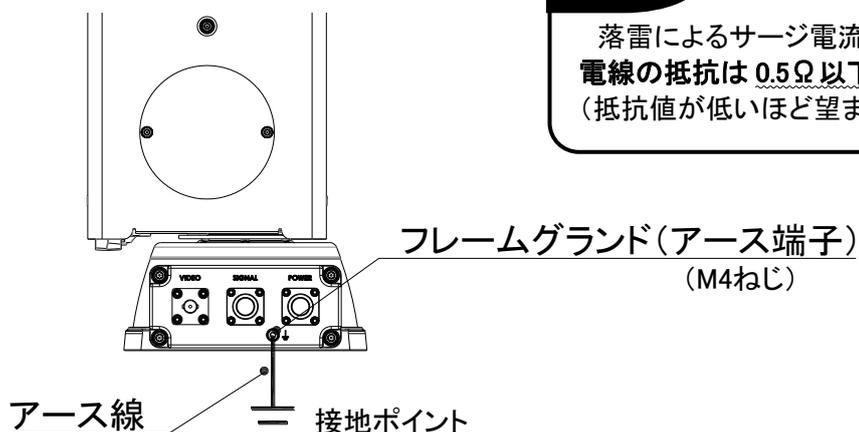


[自己融着テープ取付状態 (平面図)]

10. 接地接続

■ 対雷サージ保護のため、アース端子は必ず接地接続してください。

- 水道管、ガス管等には危険ですので接続しないでください。
- 接地には、接地抵抗の低い所へアース端子を接続してください。
- アース端子は、ACコンセントのアースラインには接続しないでください。



お願い

落雷によるサージ電流を逃がすために、
電線の抵抗は 0.5Ω 以下にしてください。
(抵抗値が低いほど望ましいです。)

11. ワイパーブレードの交換とデフガラスの清掃

■ 定期補修または、デフガラスの汚れが落ちない、水気を掃き取れない等の問題が発生したときは下記の手順でワイパーブレードを交換し、デフガラスの清掃を行ってください。

○ワイパーブレードは消耗品です。定期交換することをお勧めします。

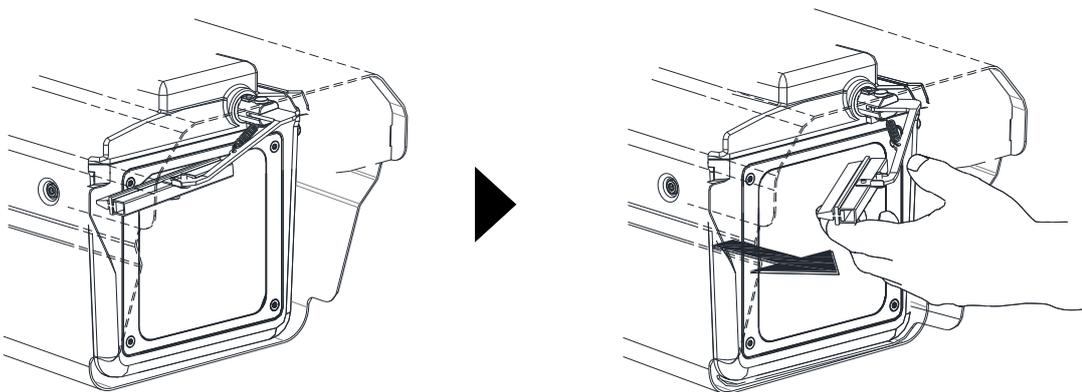
○デフガラスの清掃も定期的に行うことをお勧めします。



注意

作業中デフガラスに触ってしまう可能性があるため、ガラス面が十分に冷えている時に作業を行ってください。火傷を負うおそれがあります。

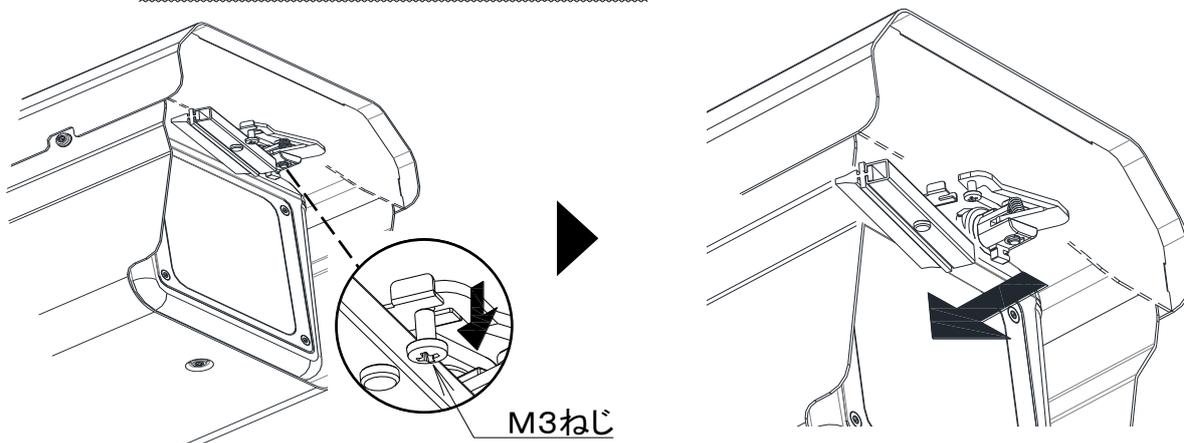
① ワイパーブレードを指で前方に引き寄せてください。



② M3ねじを1本緩め、ワイパーブレードを取り外してください。

ご注意: ワイパーアームがバネで戻ろうとするので、ゆっくりと戻してください。

急に手を離すと、キズ等の原因となります。



③ 交換用のワイパーブレードを取り付け、M3ねじで固定してください。

※目安としてトルクは、0.63N・m±10%をお願いします。

指紋がついてしまったら・・・

アルコールを含まないOAクリーナー又は、柔らかい布で軽く拭いてください。

塩害地域での使用について

塩害地域では、海水などの塩分が付着しガラス面が白くなる場合があります。このような場合は、定期的に洗浄するか、別製品のウォッシャーユニットを併用していただくことで、効果的にワイパーの拭き取りが可能です。

12. IR35(WR20) 投光器ユニットの角度調整

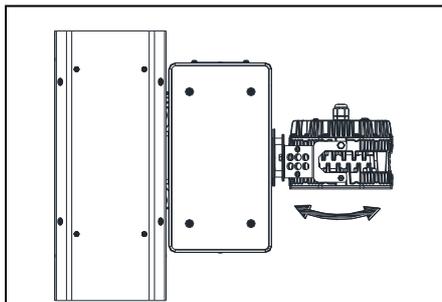
■IR35(WR20) 投光器ユニットの角度調整は以下の手順で行ってください。



注意

- ・本製品は使用中及び使用直後は高温になるため、注意が必要です。
- ・点灯中は前面パネルを覗き込んだり、光源を直視しないでください。

左右方向の調整



左右最大 3° ずつ角度調整が可能です



ご注意

- ・投光器ユニットからボルトを取り外さないでください。
調整する際は必ずボルトを緩めて行うようにしてください。

【手順】

- ① アームベース B の M6 六角ボルト 2 本を六角スパナで緩めます。

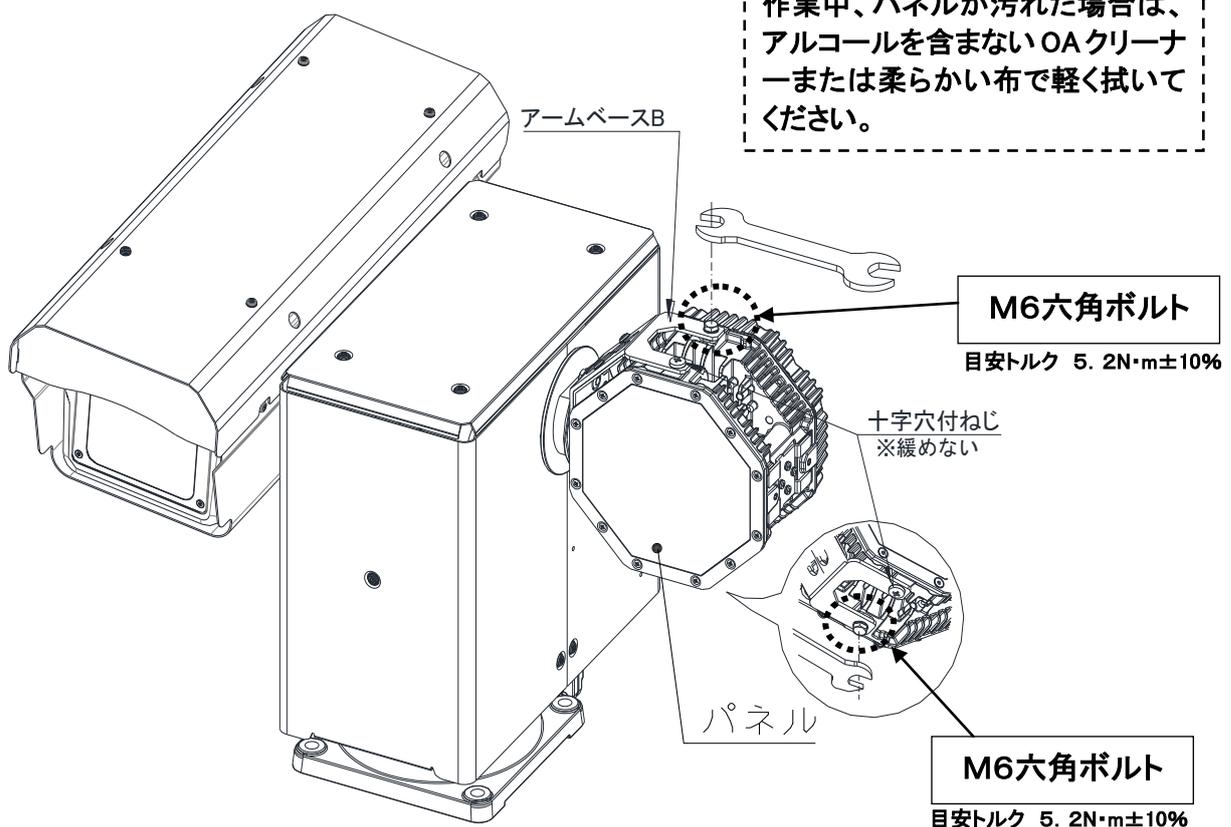
※ボルトは投光器の上下に 1 本ずつあります。

※十字ねじは緩めないでください。

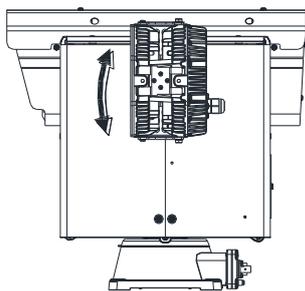
- ② 角度を調整後、六角ボルト 2 本を元のように締め込みます。

※目安としてトルクは、 $5.2\text{N}\cdot\text{m} \pm 10\%$ をお願いします。

作業中、パネルが汚れた場合は、アルコールを含まない OA クリーナーまたは柔らかい布で軽く拭いてください。



上下方向の調整



上下最大3° ずつ角度調整が可能です

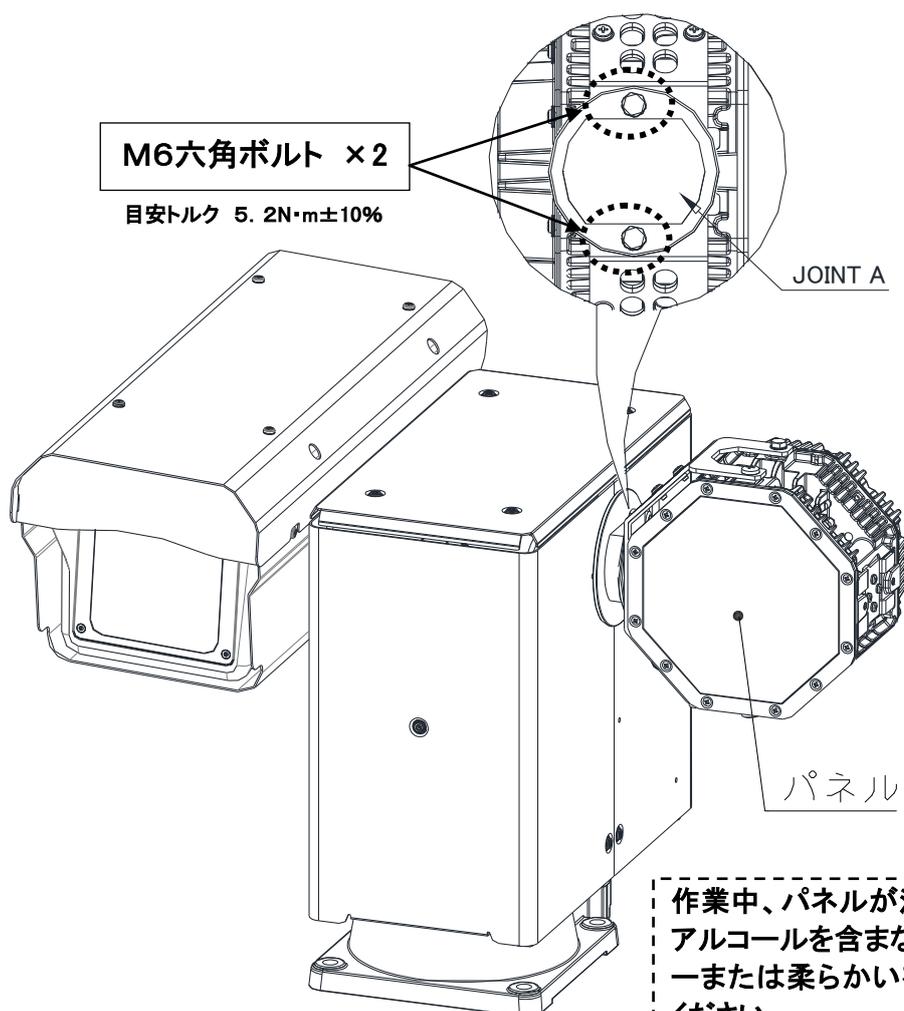
⚠️ ご注意

- ・投光器ユニットからボルトを取り外さないでください。
ボルトを取り外すと、ケーブル及び防水機構に影響を及ぼし、故障の原因となります。
調整する際は必ずボルトを緩めて行うようにしてください。

【手順】

- ① JOINT A 部のM6六角ボルト2本を六角スパナで緩めます。
- ② 角度を調整後、六角ボルト2本を元のように締め込みます。

※目安としてトルクは、5. 2N・m±10%をお願いします。



13. IR20V(WR15V) 投光器ユニットの角度調整

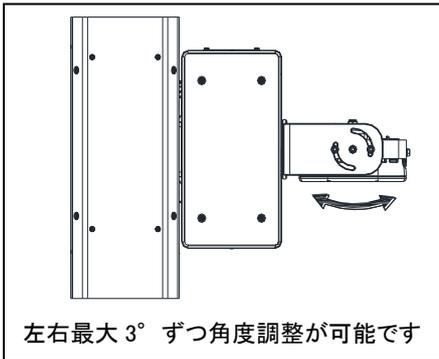
■IR20V(WR15V)投光器ユニットの角度調整は以下の手順で行ってください。



注意

- ・本製品は使用中及び使用直後は高温になるため、注意が必要です。
- ・点灯中は前面パネルを覗き込んだり、光源を直視しないでください。

左右方向の調整



左右最大 3° ずつ角度調整が可能です

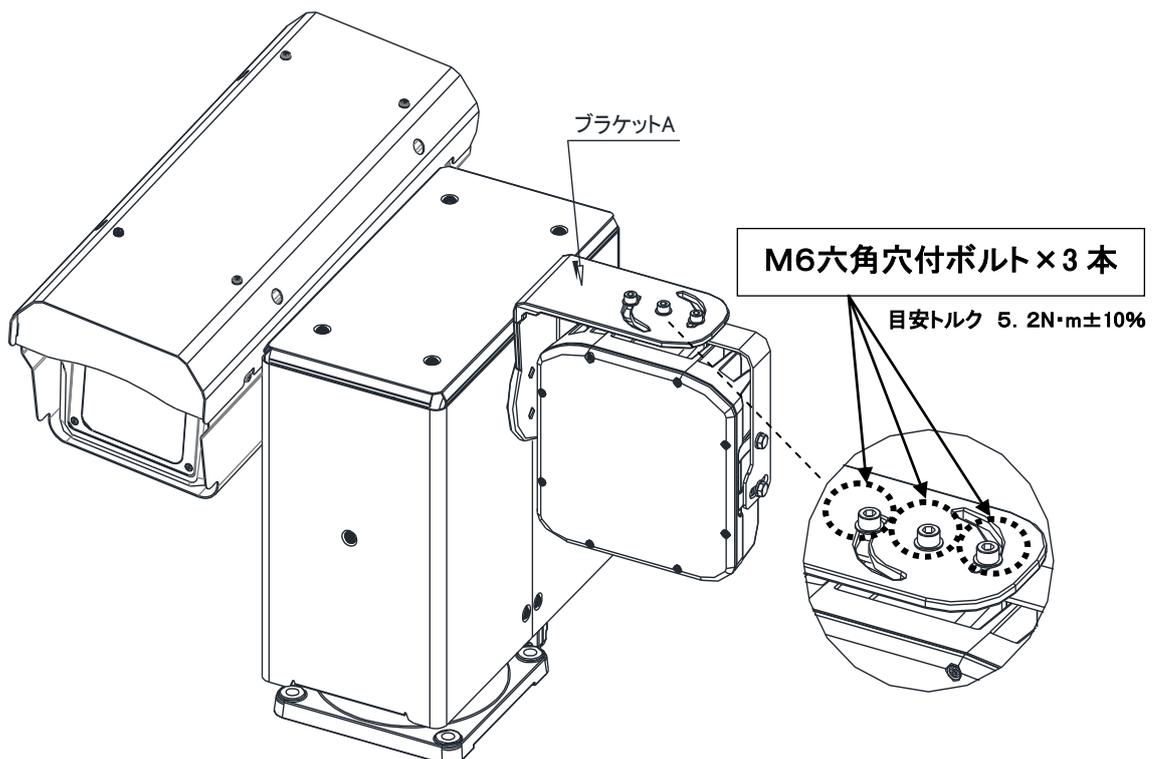


ご注意

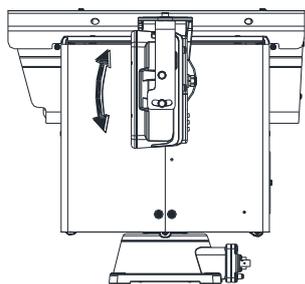
- ・投光器ユニットからボルトを取り外さないでください。
調整する際は必ずボルトを緩めて行うようにしてください。

【手順】

- ① ブラケットAのM6六角穴付ボルト3本を六角レンチで緩めます。
※ボルトを完全に取外さないでください。
- ② 角度を調整後、六角ボルト3本を元のように締め込みます。
※目安としてトルクは、5. 2N・m±10%をお願いします。



上下方向の調整



上下最大3° ずつ角度調整が可能です



ご注意

- ・投光器ユニットからボルトを取り外さないでください。
調整する際は必ずボルトを緩めて行うようにしてください。

【手順】

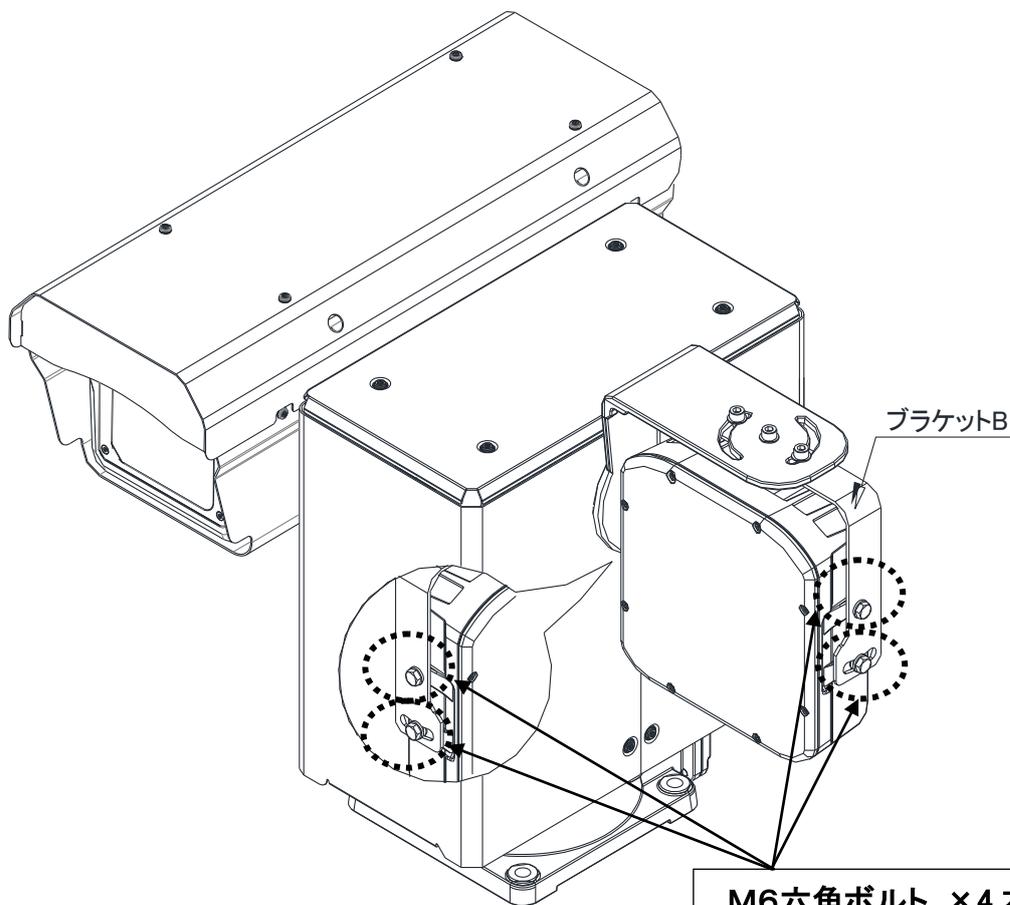
- ① **ブラケット B のM6六角ボルト4本を六角スパナで緩めます。**

※ボルトは投光器の左右に2本ずつあります。

※ボルトを完全に取り外さないでください。

- ② **角度を調整後、六角ボルト4本を元のように締め込みます。**

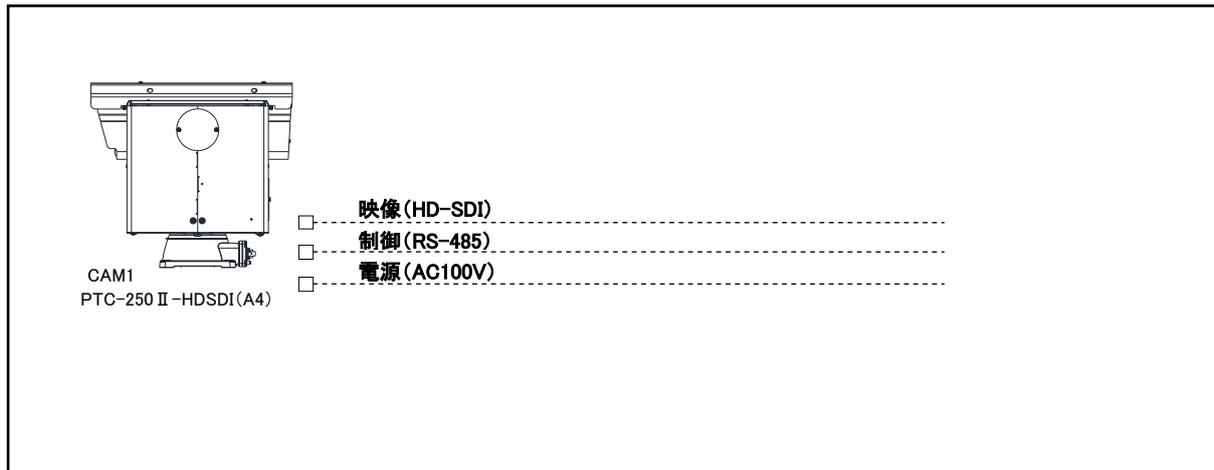
※目安としてトルクは、5.2N・m±10%をお願いします。



M6六角ボルト × 4本

目安トルク 5.2N・m±10%

14. システム接続



15. カメラアドレス設定と終端設定について

■工場出荷時の設定

カメラアドレス	001
終端設定	ON

○設定の変更は、カメラメニューより行います。

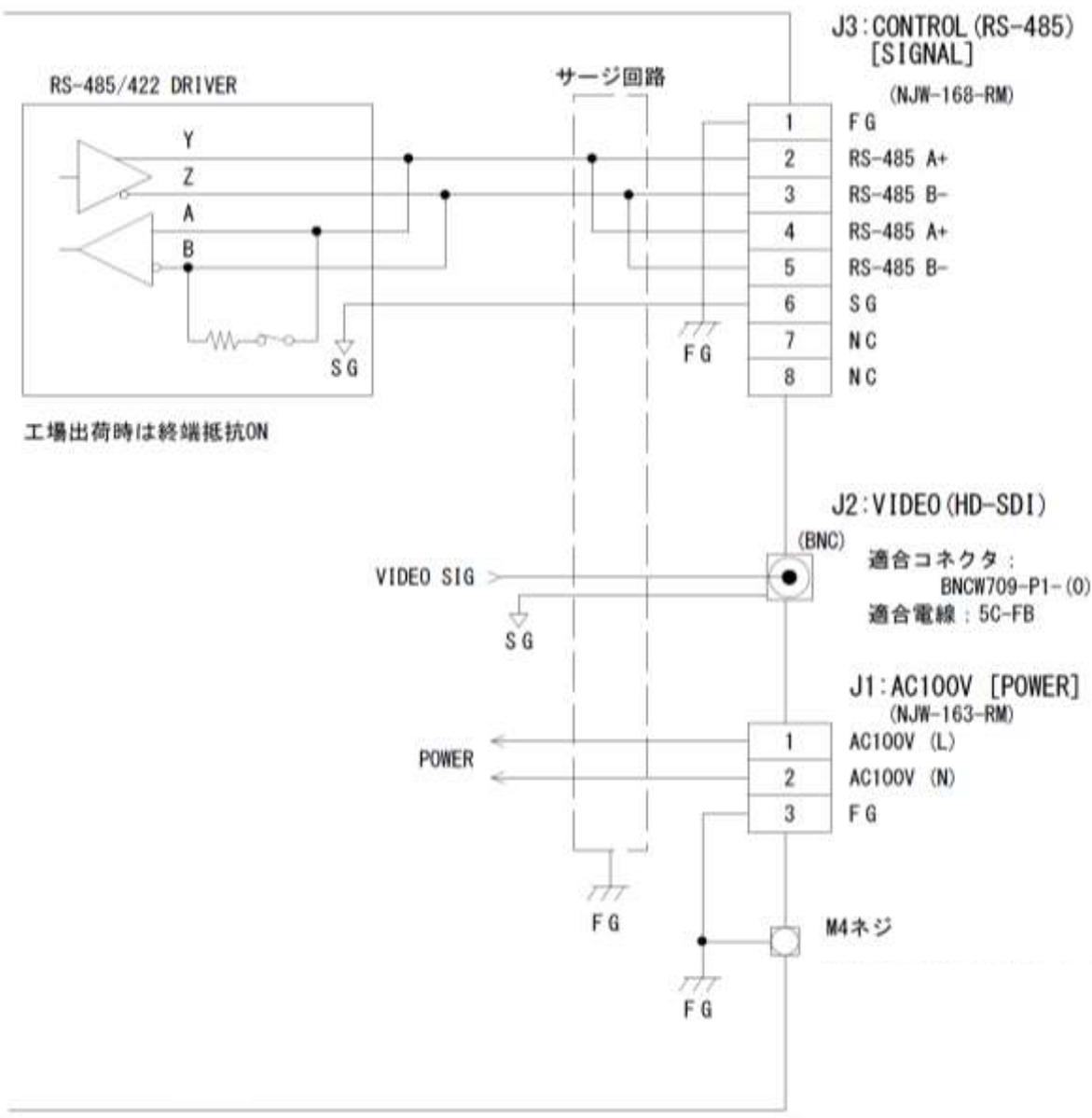
注意事項

以下の操作を行うと、カメラアドレス・終端設定が工場出荷状態(デフォルト)に戻ります。
必ず確認してから、操作してください。
※RS-485 制御の場合、カメラアドレス・終端設定がデフォルトに戻ると、今まで設定されていたカメラアドレスでは、動作しなくなります。

- カメラメニューの「システム設定画面」より、工場出荷状態(デフォルト)に戻す。

16. インターフェース図

PTC-250 II -HDSDI(A4)



※RS-485・VIDEO の GND(SG)とFG(ボデー)は絶縁されています。

注意事項

- 本製品は、サージ回路を内蔵しております。FG を接地していただくことでサージ回路が機能いたします。
- サージ回路内蔵しているため、絶縁・耐圧試験など実施しないでください。

17. 困ったときは？

こんなときは？	状況は？	確認してみてください。
動作しない	電源投入時に、イニシャライズ動作をしていますか？	電源リセットで復旧しますか？
	(旋回動作をしてプリセットポジションへ移動します)	旋回範囲に動作の妨げになる障害物や、積雪・凍結など無いかご確認ください。
	コントローラから操作できますか？	パン・チルト・ズーム・ワイパーなど操作をして動作しますか？
	レンズは動作するが、旋回動作しない	パン・チルトのリミット設定を使用していますか？リミット位置によっては、移動量が狭くなっていることが考えられます。解除してから確認ください。
旋回・レンズ動作など、なにも操作できませんか？	RS-485 の接続が正しいですか？ SG ラインと FG ライン間が導通している場合は、絶縁することで改善しますか？ RS-485 の GND (SG) ラインを使用していない場合は、コントローラの GND (SG) と接続すると動作しますか？ メモリクリアを実行しましたか？ メモリクリアを行うと工場出荷状態(デフォルト)に戻ります。 カメラアドレス設定は正しいですか？ 終端設定はされていますか？	
オートフォーカス(AF)が動作しない	マニュアル操作でピントが合いますか？	被写体が暗い場合、明るい所では AF しますか？ 被写体を変えると合いますか？ 被写体によっては、ピントが合いにくい場合もあります。 また、被写体のピントが極端に合っていない場合は、AF の実行を停止します。
白黒/カラーが切り替らない	カメラメニューのご確認はお済みですか？	工場出荷時設定はマニュアル(カラー固定)となっております。 自動的にカラー/白黒を切り替える場合は、カメラメニューより、AUTO 設定にしてください。 カメラ周辺が明るい(暗い)場合でも、被写体が明るい(暗い)ともどりにくい場合があります。 また、濃淡な壁や色調が暗い部屋などは周囲が明るくても戻りにくい場合があります。この場合は、カラー(白黒)固定の設定をお勧めいたします。
カメラの映像で白色がずれている	ホワイトバランスの設定は？ ATW(自動追従)ですか？	被写体を変えることで、色が変わりますか？ また、AUTO、INDOOR、OUTDOOR 設定などで改善されますか？ 設置状況・被写体により、ずれてしまう場合もありますので、その場合は ATW 以外の設定をお勧めします
映像が暗い	アイリスの設定値は？	アイリスを開放にしても暗いですか？
	夜間の時、映像が暗く感じる	SENSUP や AGC 設定など変更すると改善しますか？
映像にノイズがある	カメラからの映像信号を直接モニターで見ると？	SG ラインと FG ラインが接続されている場合は絶縁してください。
映像が見えにくい	雨天の場合	ワイパーを動かしても、水滴などの拭き残しなどある場合は、ワイパーブレードの交換をお勧めします。ワイパーブレードのご購入は、本カメラ購入先又は弊社までお問い合わせ願います。
	ガラス面が汚れていますか？	ガラス面の汚れによっては、ワイパーで落ちきらないので、ガラス面の清掃をお願いします。 塩害地域でのご使用をされる場合、海水(塩分)の付着などでガラス面が白くなる場合があります。別売品のウォッシャーユニットとワイパーを併用することをお勧めします。

18. 仕様

■仕様・性能

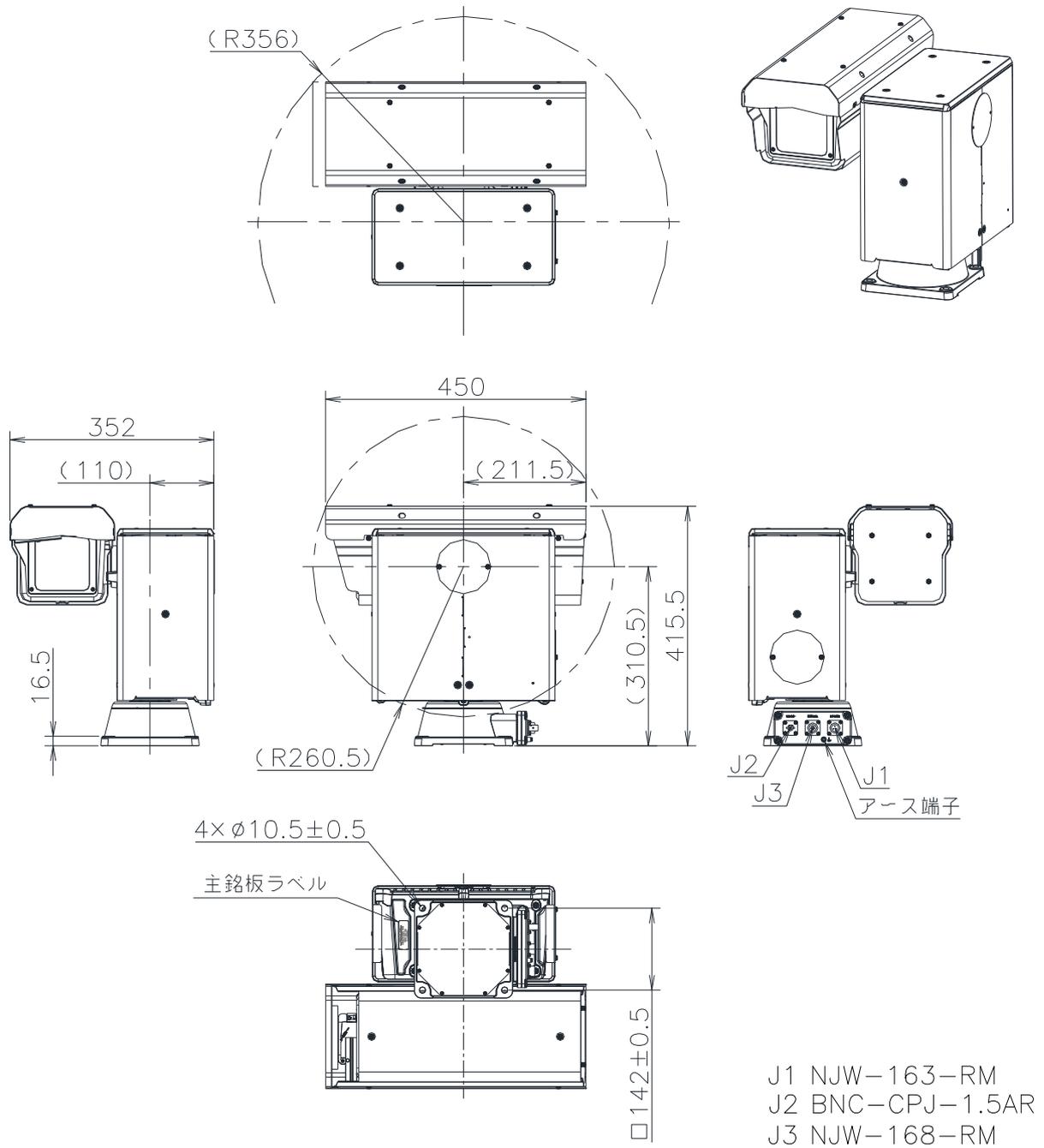
電 源	AC100V±10% 50/60Hz	
消 費 電 力	標準仕様:待機時約 45W 最大約 180W 以下 ・PTC-250Ⅱ-HDSDI(A4)-IR35/WR20 搭載 点灯(最大投光量):上記電力+55W ・PTC-250Ⅱ-HDSDI(A4)-IR20V/WR15V 搭載 点灯(最大投光量):上記電力+40W	
電 気 的 耐 力	絶縁抵抗:DC500Vにて5MΩ以上 耐電圧:AC1000V 50/60Hz 1分間	
制 御 方 式	RS-485 制御 工場出荷時は終端抵抗を ON に設定 RS-485 は半 2 重, 9600bps, データ 8, パリティ 0, ストップ 1 ビット	
カメラアドレス	000~255 工場出荷時は 001 に設定	
プリセットメモリー	255 ポジション	
カ メ ラ	撮 像素 子	1/2.8 英寸 CMOS / 約 213 万画素
	解 像 度	1920×1080
	伝 送 方 式	HD-SDI 準拠
	S/N 比	50dB 以上
	露光モード	AE モード/マニュアルモード AE モード アイリス・ゲインを組合わせて動作(デフォルト設定) アイリスは AE 時オート動作、マニュアル設定時オープン/クローズ調整が可能
	逆 光 補 正	OFF/ON/WDR
	ノイズリダクション	ON/OFF
	ホワイトバランス	ATW/AWB/マニュアル
	同 期 方 式	内部同期
	レ ン ズ	ズーム倍率
	実効焦点距離	F=4.3~129mm
	実効画角	水平 約 63.7° (W)~約 2.3° (T)
	最大口径比	F1.6(W)~F4.7(T)
	オートフォーカス	ワンプッシュ/ストップ AF/連続
旋 回 台	旋 回 角 度	水平:360° エンドレス 垂直:+90° ~0° (水平) ~ -90° ±2°
	旋 回 速 度	水平:マニュアル 0.05~60° /s プリセット 180° /s 垂直:マニュアル 0.05~30° /s プリセット 90° /s
	プリセット精度	水平/垂直 ±0.3° 以下
その他の機能	イニシャル動作、オートパン機能、プリセット動作	
設置条件/設置方法	屋外一般 正立	
周囲温度/湿度範囲	-30°C~+45°C (直射日光が当たる場合は+40°Cまでとします。0°C以下は連続通電時) 90%RH 以下 (但し、結露ないこと)	
防 水 性	IP66 に準じる	
耐 風 圧 特 性	風速 40m/s 以下 動作可能 (マニュアル動作) 風速 60m/s 以下 非破壊	
材質及び外観仕上げ	アルミ合金 マンセル 5Y8/1 ツヤ	
質 量	標準仕様:約 21kg 耐雪サンシェード仕様:約 22kg 投光器搭載仕様:約 23kg 耐雪サンシェード+投光器搭載仕様:24kg	
ワイパー	2 往復動作し自動停止。(メニュー設定で変更可能)	
デフロストガラス	前面ガラスは曇り止め機能を有します。 温度センサーによる自動動作	
ヒーター	温度センサーによる自動動作	
ファン	温度センサーによる自動動作	
付 属 品	付属コネクタ(電源プラグ NJW-163-PF(11)、制御プラグ NJW-168-PF(9)、映像プラグ BNCW709-P5(0))、 取扱説明書、梱包箱	

※本機の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

■外形仕様図

標準仕様

型式: PTC-250 II-HDSI(A4)

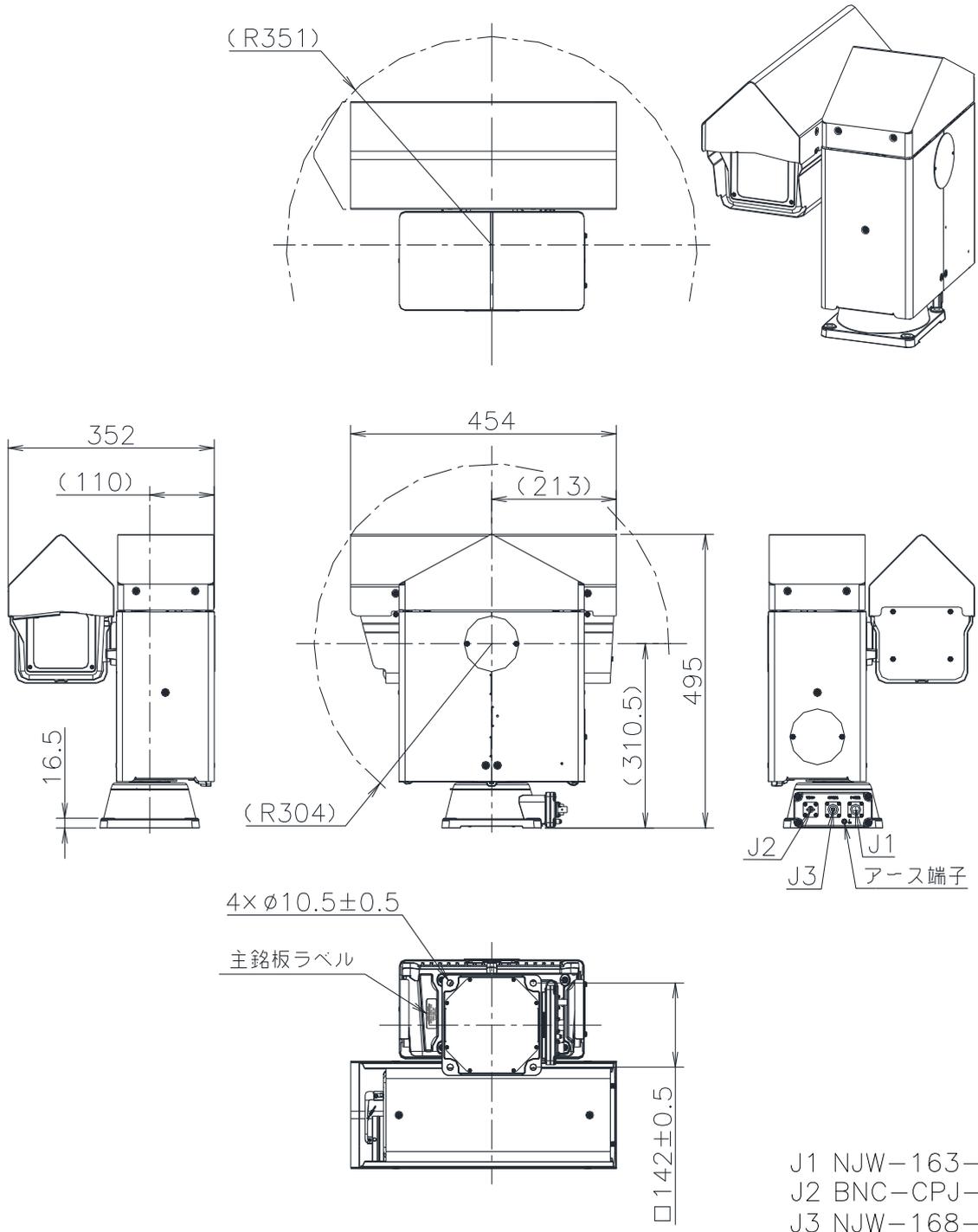


寸法公差 ± 5

■外形仕様図

耐雪サンシェード仕様

型式: PTC-250 II-HSDI(A4)-S



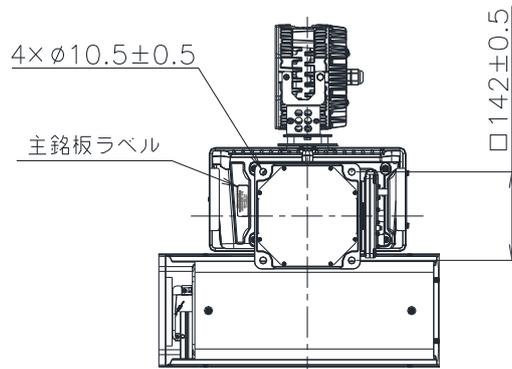
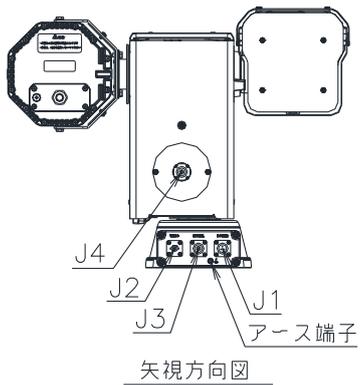
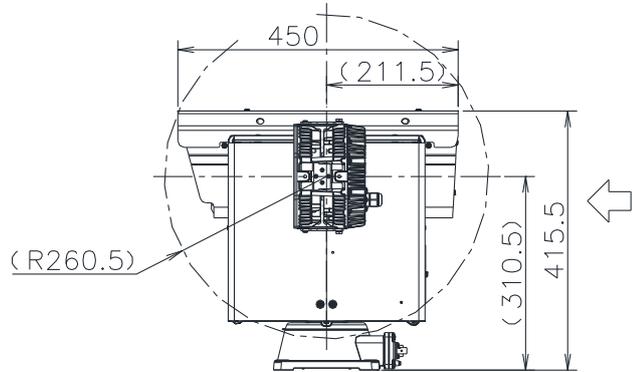
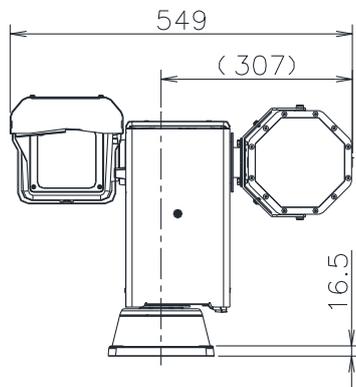
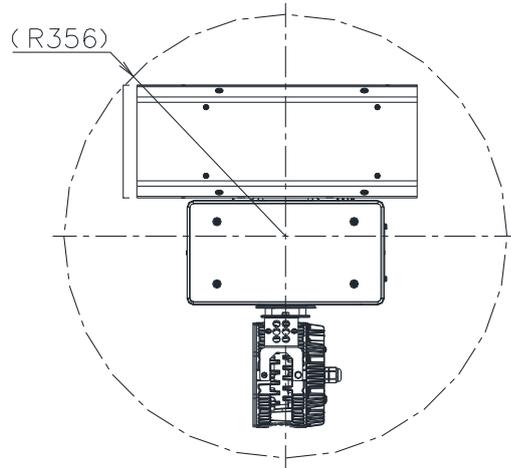
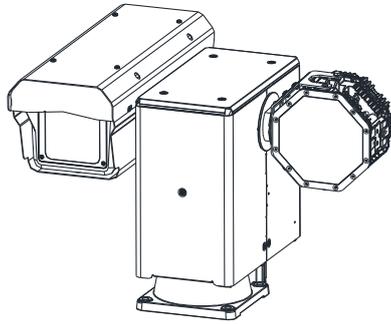
J1 NJW-163-RM
J2 BNC-CPJ-1.5AR
J3 NJW-168-RM

寸法公差 ± 5

■外形仕様図

投光器搭載仕様

型式: PTC-250 II-HDSI(A4)-IR35(WR20)



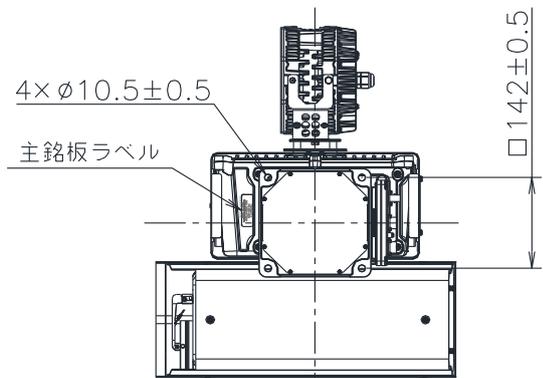
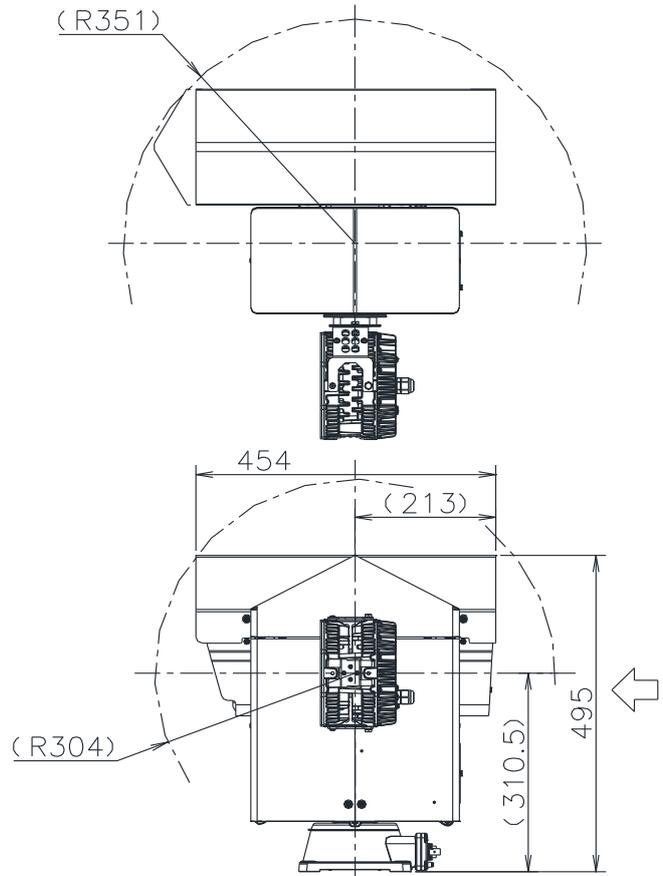
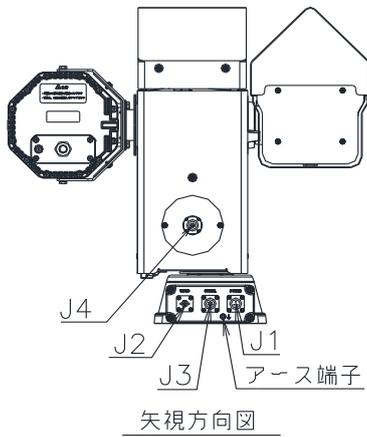
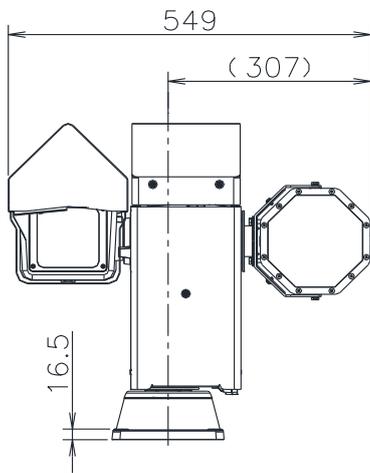
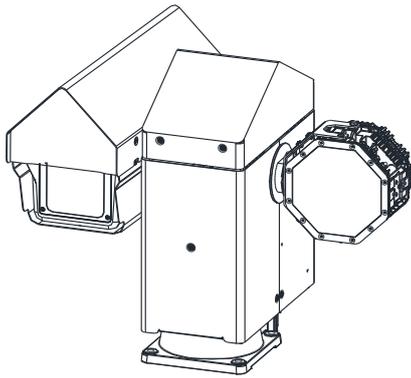
- J1 NJW-163-RM
- J2 BNC-CPJ-1.5AR
- J3 NJW-168-RM
- J4 NJW-168-RF

寸法公差±5

■外形仕様図

耐雪サンシェード+投光器搭載仕様

型式: PTC-250 II -HSDI(A4)-S-IR35(WR20)

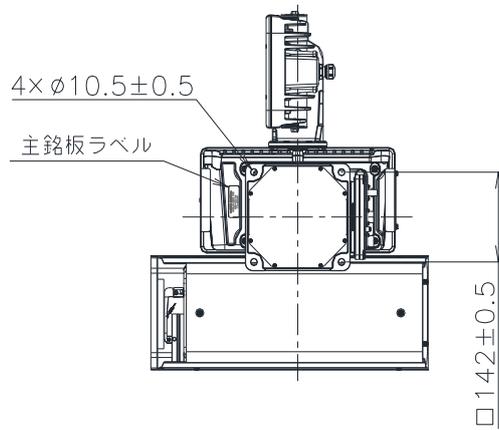
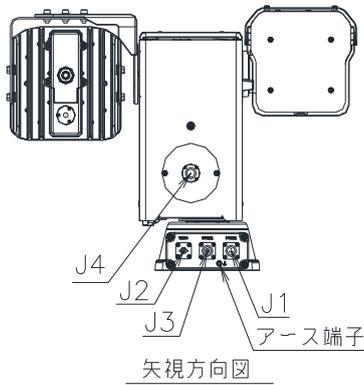
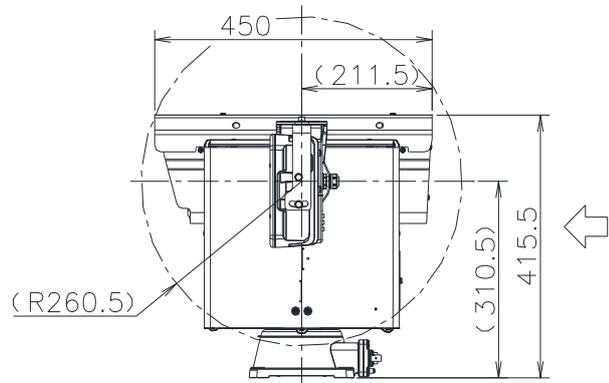
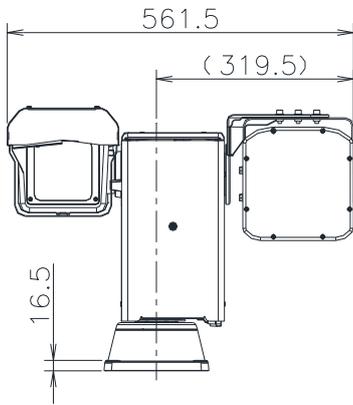
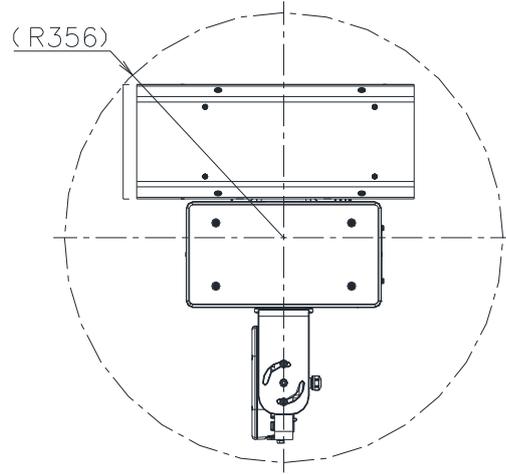
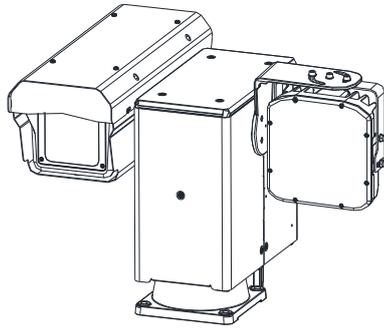


- J1 NJW-163-RM
- J2 BNC-CPJ-1.5AR
- J3 NJW-168-RM
- J4 NJW-168-RF

寸法公差±5

■外形仕様図

型式: PTC-250 II -HDSDI(A4)-IR20V(WR15V)

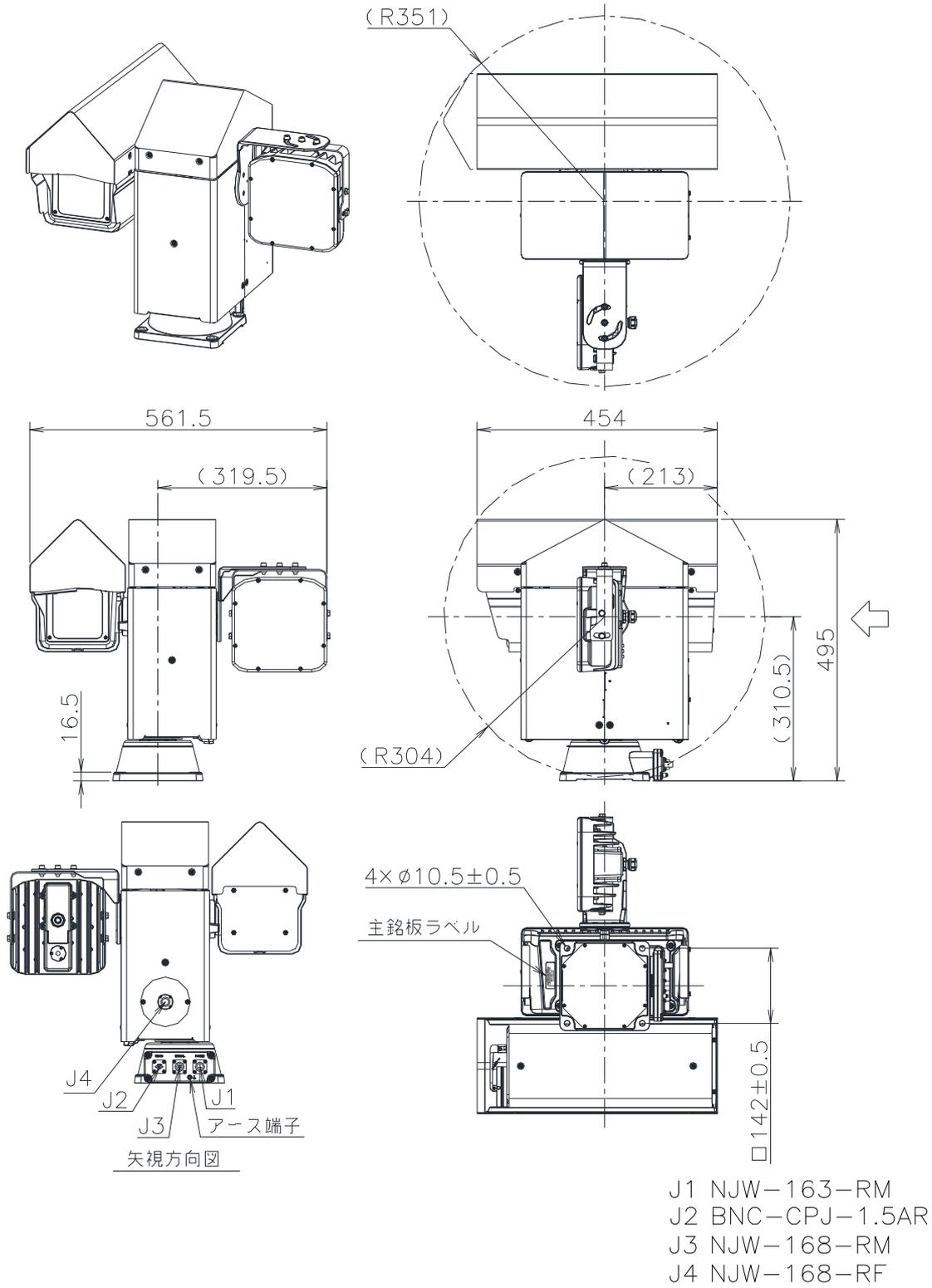


- J1 NJW-163-RM
- J2 BNC-CPJ-1.5AR
- J3 NJW-168-RM
- J4 NJW-168-RF

寸法公差 ±5

■外形仕様図

型式: PTC-250 II-HDSI(A4)-S-IR20V(WR15V)



寸法公差±5

製品の保証について

<保証期間>

本製品の保証期間は弊社(株式会社ミカミ)が納入した日より1年間とし、弊社保証規定に基づき無償修理を行うことをお約束いたします。

<製品保証規程>

- 1.上記記載の保証期間において、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った、正常な使用状態で万一故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
- 2.保証期間内でも、次の場合には有償修理になります。
 - (1)ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または損傷。
 - (2)お買い上げ後の輸送、移転、落下などによる故障および損傷。
 - (3)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (4)本製品に接続している当社指定以外の機器故障に起因する故障および損傷。
 - (5)消耗部材を取り替える場合。
 - (6)指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障および損傷。
- 3.この保証規程は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

* 本製品の故障に起因する付随的損害については補償いたしかねます。

<修理について>

- 1.本製品の修理は引き取り修理とさせていただきます。
- 2.修理内容によっては設定内容、ログなどが消えることがあります。当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

株式会社 

特機営業部

〒102-8520 東京都千代田区麹町 1-10-1 ミカミビル3階

TEL. 03 (3230) 4511 FAX. 03 (3230) 3451

西日本支店

〒531-0072 大阪市北区豊崎2-7-9 豊崎いずみビル8階

TEL. 06 (6376) 1821 FAX. 06 (6376) 2071

本書は、予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。

MUM0677-2

2019.2